

舞鶴工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	現代日本の政治・経済と法Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号	0294		科目区分		一般 / 選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		履修単位: 1		
開設学科	一般科目		対象学年		5		
開設期	後期		週時間数		2		
教科書/教材	指定しない						
担当教員	児玉 圭司						
到達目標							
1 現代社会の政治的・経済的諸課題, および公正な社会の実現に向けた現在までの取り組みについて理解できる。 2 地域社会の諸課題を理解するとともに, その解決策を考える。 3 自己の主張を, 説得力に富む形で他者に説明できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	1. について理解できている。		1. について概ね理解できている。		1. について理解できていない。		
評価項目2	2. について実践できている。		2. について概ね実践できている。		2. について実践できていない。		
評価項目3	3. について実践できている。		3. について概ね実践できている。		3. について実践できていない。		
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 (E) 学習・教育到達度目標 (F) 学習・教育到達度目標 (I)							
教育方法等							
概要	1. これまでに身につけた政治学・経済学や法学の知識を生かして, 地域社会の諸問題を理解する。 2. 討論や報告を通じて, 自身の理解を説明する能力を培う。 【Course Objectives】 This course is designed to help students: 1. to understand various issues in modern Japan through the knowledge of politics , economy and law already acquired. 2. to cultivate their abilities to explain their understandings through debates and presentations.						
授業の進め方・方法	1. 講義ではほぼ毎回, 地域にまつわる課題を課し, 調査・提出してもらう。 2. 講演やフィールドワークでは, 対象となる人物や会場を事前に調べ, 予習した上で臨んでもらう。 3. グループワークでは, 求められたテーマについて調査を行い, 報告してもらう。 【学習方法】 1. 他学生の報告では発言や表現技術をよく見て, 自身のスキルアップに役立ててもらいたい。 2. 時事問題や地域社会を素材とするため, 普段から興味を持って情報を集めるとともに, 自身の考えを深めてもらいたい。						
注意点	【定期試験の実施方法】 1. 定期試験は実施しない。 【成績の評価方法・評価基準】 1. 講義ごとに課される課題の提出と内容 (100%) 。 2. 上記の到達目標に基づき, 各項目の理解についての到達度を評価基準とする。 【履修上の注意】 1. 本講義では, 校外授業や課題提出など, 履修者に一定の負荷がかかることが想定される。 そのため, 受講者には意欲をもって積極的に参加してもらいたい。 【学生へのメッセージ】 1. 本講義は地域志向科目である。 2. 履修者数によって講義形式・内容が変更される可能性がある。 【教員の連絡先】 教 員 名 児玉 圭司 研 究 室 A棟3階 (A-302) 内線電話 8908 e-mail: kodamaアットマークmaizuru-ct.ac.jp (アットマークは@に変えること)						
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	シラバス内容の説明ー講義の目的と進め方				
		2週	【講演】舞鶴市のまちづくり			1 現代社会の政治的・経済的諸課題, および公正な社会の実現に向けた現在までの取り組みについて理解できる。 2 地域社会の諸課題を理解するとともに, その解決策を考える。	
		3週	グループワーク (1) ープランを練る			2 地域社会の諸課題を理解するとともに, その解決策を考える。	
		4週	グループワーク (2) ー調査を行う			2 地域社会の諸課題を理解するとともに, その解決策を考える。	
		5週	グループワーク (3) ー発表資料を作る			2 地域社会の諸課題を理解するとともに, その解決策を考える。 3 自己の主張を, 説得力に富む形で他者に説明できる。	
		6週	フィールドワーク (グループごとと任意)			2 地域社会の諸課題を理解するとともに, その解決策を考える。	
		7週	プレゼンテーション大会			2 地域社会の諸課題を理解するとともに, その解決策を考える。 3 自己の主張を, 説得力に富む形で他者に説明できる。	
		8週	後期中間試験				
	4thQ	9週	ディベートについて／テーマの決定			1 現代社会の政治的・経済的諸課題, および公正な社会の実現に向けた現在までの取り組みについて理解できる。	

		10週	テーマについての調査（グループワーク）	1 現代社会の政治的・経済的諸課題，および公正な社会の実現に向けた現在までの取り組みについて理解できる。 3 自己の主張を，説得力に富む形で他者に説明できる。
		11週	ディベート大会（1）	1 現代社会の政治的・経済的諸課題，および公正な社会の実現に向けた現在までの取り組みについて理解できる。 3 自己の主張を，説得力に富む形で他者に説明できる。
		12週	テーマについての調査（グループワーク）	1 現代社会の政治的・経済的諸課題，および公正な社会の実現に向けた現在までの取り組みについて理解できる。 3 自己の主張を，説得力に富む形で他者に説明できる。
		13週	ディベート大会（2）	1 現代社会の政治的・経済的諸課題，および公正な社会の実現に向けた現在までの取り組みについて理解できる。 3 自己の主張を，説得力に富む形で他者に説明できる。
		14週	予備日	本講義は13週で終了。
		15週	予備日	本講義は13週で終了。
		16週	後期期末試験返却，到達度確認	本講義は13週で終了。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標				到達レベル	授業週
評価割合								
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計	
総合評価割合	0	20	20	0	60	0	100	
基礎的能力	0	20	20	0	60	0	100	
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0	
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	